



『東北圏だより』

「農山漁村が元気になるための東北版サミット

～手をつなごう！高め・広めよう！東北の農山漁村（むら）～」を開催しました！

東北農政局

令和元年11月29日に、日立システムズホール仙台（仙台市青年文化センター）で「農山漁村が元気になるための東北版サミット～手をつなごう！高め・広めよう！東北の農山漁村（むら）～」を開催しました。

このサミットは、農林水産省の農山漁村振興交付金（農泊推進対策）広域ネットワーク推進事業の取組で、一般社団法人全国農協観光協会が事業実施主体となり、農林水産省、東北農政局とともに、東北地方の農泊を中心とした地域活性化に取り組む団体等が連携するために開催したものです。

当日は、約150人の来場があり、第1部では、一般社団法人ムラたび九州の本田代表理事の講演に始まり、株式会社農協観光の齋藤室長による、一般社団法人みなかみ町体験旅行 北山常務理事へのインタビュー、東洋大学の青木名誉教授、本田代表理事へのインタビューと、各地の取組の話をおりまぜながら、取り組む中での苦労話や、連携についてお話がありました。講演の間の休憩時間には、大館市まるごと体験推進協議会による、「秋田弁ラジオ体操」を会場みんなでを行い、身体と心をほぐしました。



▲(株)農協観光の齋藤室長による
(一社)みなかみ町体験旅行 北山常務理事へインタビュー



▲(株)農協観光の齋藤室長による
(一社)ムラたび九州 本田代表理事、
東洋大学 青木名誉教授へインタビュー



▲大館市まるごと体験推進協議会
「秋田弁ラジオ体操」

今回このサミットの開催と同時に“連携”というキーワードに着目して「農泊を中心としたネットワーク組織委員会」を立ち上げ、大正大学の村橋教授を委員長に、東北管内の農泊・農福に精通した方、また、一般社団法人東北観光機構からも専門委員を招き、東北の現状、課題点、連携の必要性等について整理を行っています。その中で、いままでの教育旅行をベースとしたグリーン・ツーリズムから、日本の原風景ともいえる農山漁村における体験に関心のある個人旅行客や急増するインバウンドの受入に対応できる体制を構築することが重要で、さらには、今後「ALL 東北」一丸となって、これらの地域活性化に取り組む必要性も議論されています。

このサミットで各活動団体・企業等が連携することで、地域資源や取組に関する知恵の共有や、海外に向けて東北という知名度を上げていくため、委員により、サミットのサブタイトルどおり、手をつなぎながら、サミット宣言をいたしました。

第2部では、相談会・商談会が開催され、各種企業や、第一部での講演者や、「農泊を中心としたネットワーク組織委員会」の皆様と直接話をできるブースを設置し、取り組む上での悩みや、各団体の情報共有の場となりました。



▲農泊を中心とした
ネットワーク組織委員会によるサミット宣言

農山漁村が元気になるための東北版サミット
~手をつなごう! 高め・広めよう! 東北の農山漁村~

参加費 無料
※交通費・食費別

開催のご案内
農泊をはじめとする地域の実践者が、他の団体や企業事業者との横の繋がりをつくり、東北地域の農山漁村の更なる活性化に向けた新たな歩みをはじめめるための第一歩とすることを目的に今回のサミットを開催いたします。

■日時 2019年11月29日(金)
13:00~19:30(開場12:20)

■会場 日立システムズホール仙台
(仙台市青年文化センター)
シアターホール
※仙台市営地下鉄・青葉線 仙台駅下車、徒歩約10分

■定員 300名様(先着順)
※本事業を主催する関係機関・関係者を除く。各活動団体のパンフレットと名刺を事前に郵送ください。
※参加費を定額で定めていますが、参加費が異なる場合があります。
※出席者リストを事前に郵送させていただきます。

■主催 一般社団法人 全国農産観光協会

サミットの内容に関するお問い合わせ先 運営事務局(一社) 全国農産観光協会
事業部第1グループ 担当:安田・白木・川島
☎03-5297-0323(平日9:00~17:30) E-mail:zennoukan@i-znk.jp

農山漁村が元気になるための東北版サミット
~手をつなごう! 高め・広めよう! 東北の農山漁村~

登壇者プロフィール

■東北版サミット宣言
大正大学 地域情報研究所 教授 村橋 友晴氏
(元とうもろこしDMO(前事業本部長))
陶気な母さんの店(株) 代表取締役 石川 一子氏
NPO法人遠野の心 暮らしネットワーク 会長 菊池 新一氏
むらこ牧場 会長 藤井 けい子氏
※ご登壇の経路は、裏面・裏紙にて、イラストを添付しております。

【会場案内】 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)
●会場 仙台市青葉区 仙台駅22-5
●アクセス 仙台市営地下鉄 青葉線 仙台駅下車、徒歩約10分
〒981-8501 仙台市青葉区 仙台駅22-5
日立システムズホール仙台
仙台市青年文化センター

■東北版サミット宣言
大正大学 地域情報研究所 教授 村橋 友晴氏
(元とうもろこしDMO(前事業本部長))
陶気な母さんの店(株) 代表取締役 石川 一子氏
NPO法人遠野の心 暮らしネットワーク 会長 菊池 新一氏
むらこ牧場 会長 藤井 けい子氏
※ご登壇の経路は、裏面・裏紙にて、イラストを添付しております。

■東北版サミット宣言
大正大学 地域情報研究所 教授 村橋 友晴氏
(元とうもろこしDMO(前事業本部長))
陶気な母さんの店(株) 代表取締役 石川 一子氏
NPO法人遠野の心 暮らしネットワーク 会長 菊池 新一氏
むらこ牧場 会長 藤井 けい子氏
※ご登壇の経路は、裏面・裏紙にて、イラストを添付しております。

■東北版サミット宣言
大正大学 地域情報研究所 教授 村橋 友晴氏
(元とうもろこしDMO(前事業本部長))
陶気な母さんの店(株) 代表取締役 石川 一子氏
NPO法人遠野の心 暮らしネットワーク 会長 菊池 新一氏
むらこ牧場 会長 藤井 けい子氏
※ご登壇の経路は、裏面・裏紙にて、イラストを添付しております。

農山漁村が元気になるための東北版サミット 参加申込書 (FAX用) **申込締切 11月25日(月)**
専用ウェブサイト又はFAXのいずれかで申し込みください。
※団体および個人での申し込みは、ご遠慮ください。

氏名	姓	名	フリガナ
団体名(会社名)・学校名			
参加プログラム (Oを付けてください)	① 講演会・広域連携ネットワークタイム(第1・2部)の参加(無料) ② 交流会の参加(有料:3,500円) ※交流会参加は必須ではありません。		
TEL	FAX		
E-mail			

※「お問い合わせ」欄には、必ずお名前と連絡先を記載し、ご返信の目的を明記していただくようお願いいたします。
※「お問い合わせ」欄には、必ずお名前と連絡先を記載し、ご返信の目的を明記していただくようお願いいたします。
※「お問い合わせ」欄には、必ずお名前と連絡先を記載し、ご返信の目的を明記していただくようお願いいたします。
※「お問い合わせ」欄には、必ずお名前と連絡先を記載し、ご返信の目的を明記していただくようお願いいたします。

※お問い合わせ先 庄屋協観光(Nツアーコールセンター)
WEBサイトURL: <https://ntour.jp/symposium/tohokusummit/>
FAX: 0986-21-4175

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。
メールアドレス: thr-kou-suishin2@mlit.go.jp